

教科名	家庭		科目名	家庭基礎
科目の目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実・向上を図る能力と実践的な態度を育てる。			
履修学年	2学年	学科・コース	全学科	
単位数	2単位	授業形態	一斉授業（個別・班学習等）	
教科書	新家庭基礎（大修館書店）	副教材等	カラーガイド食品成分表（大修館）	
<b>1 学習の目標</b>				
<p>(1) 人の一生を生涯発達の観点でとらえ、各ライフステージの特徴と課題について理解させるとともに、青年期の自立の重要性について認識させる。</p> <p>(2) 被服管理に必要な被服材料、被服構成などの基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、目的に応じて着装を工夫し、健康で快適な衣生活を営むことができるようにする。</p> <p>(3) 健康で安全な食生活を営むために必要な栄養、食品、調理及び食品衛生などの基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、生涯を見通した食生活を営むことができるようにする。</p> <p>(4) 消費者の権利と責任について理解させ、現代の消費生活の課題について認識し、消費者として資源や環境に配慮した責任ある行動ができるようにする。</p> <p>(5) 実験・実習やホームプロジェクト学習を通して生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画的に実践することができるようにする。</p>				
<b>2 学習内容と進め方</b>				
2学年では「自立」「衣生活」「食生活」「消費生活」の4分野について学習します。				
<p>(1) 学習を生活のあらゆる場面と結びつけ、家庭の充実向上を目指して取り組む態度と意欲を身につけます。</p> <p>(2) 学習を通し、実用品を作る楽しさを体験すると共に、生活に関する基本的な知識・技術を身につけます。</p> <p>(3) 資料やプリントを使用することにより、学習の定着をはかります。</p>				
<b>3 学習の留意点</b>				
<p>(1) 学習した内容を実際の生活に置き換え、問題点を見つけよりよい生活にしようとするのが大切です。</p> <p>(2) 実習中は安全面に注意し、能率的に作業を進めてください。</p> <p>(3) 家庭生活と社会の関わりを理解するために、新聞やニュースに関心を持つのが大切です。</p>				
<b>4 評価の方法</b>				
<p>(1) 評価の観点</p> <p>① 家庭や地域の生活についての関心、学習に対する意欲的な取り組み、実践的な態度が身に付いたか。</p> <p>② 生活課題を認識し、主体的に解決するために考え、工夫し創造する力が身に付いたか。</p> <p>③ 生活を営むために必要な基礎的・基本的な技術を習得し、成果を的確に表現する力が身に付いたか。</p> <p>④ 家庭生活に関する基礎的・基本的な知識が総合的に身に付いたか。</p> <p>(2) 次のような方法で皆さんの学習を評価します</p> <p>・定期考査 ・各種提出物の状況 ・被服製作 ・授業及び実習の取り組み ・自己評価等</p> <p>※提出物が不完全な場合は、定期考査の結果に関わらず評価の対象になりません。</p>				
<b>5 授業計画</b>				
【関】は「関心・意欲・態度」、【思】は「思考・判断・表現」、【技】は「技能」、【知】は「知識・理解」				
月	単元	学習内容	評価の観点	考査等
4	・オリエンテーション  1章 人の一生と青年期の課題をみつけよう	・家庭基礎の学習内容を理解する。  ・青年期の課題と自立について考える。	【関】 ・人の一生を生涯発達の視点でとらえ、各ライフステージの特徴と課題について考えようとしている。  【思】 ・自立や男女の平等と相互の協力などの青年期の課題について、自己の生きかたと関連させて考えを深め、まとめたり、発表したりしている。	この単元を自己評価してみよう <b>A B C</b>
	8章 健康で快適な衣生活をつくろう  衣服の材料	・被服材料の種類と性能を知る。	【技】 ・資料を収集したり、疑問に思うことや興味を持ったことを調べたりすることができる。	
5	衣服を作る	・手縫い、ミシンの基本的技術を身につける。	【知】 ・青年期の意味と自立への課題について理解し、人生選択に関する基礎的・基本的知識を身につけている。	

6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「基礎縫い」を行う。</li> <li>・「ユニバーサルデザインエプロン」を作成する。</li> <li>・着装。</li> <li>・実習の反省。</li> </ul>	<p><b>【関】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衣生活と衣服に関心を持ち、自らの衣生活をより豊かで充実したものにするために知識や技能の習得に意欲的に取り組もうとする。</li> </ul> <p><b>【思】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの衣生活について、環境、健康、安全などの関係で、問題点・課題を見いだすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎縫い</li> <li>・作品</li> <li>・製作の記録</li> <li>・自己評価</li> </ul>
7	衣生活の計画と管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・快適な被服。</li> <li>・衣生活の計画。</li> <li>・被服の管理。</li> <li>・ユニバーサルデザインの考え方</li> </ul>	<p><b>【技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の実習において、基礎的な技法と縫製技術が習得できている。</li> </ul> <p><b>【知】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被服材料の種類と特徴および着ごちや手入れ・保管にかかわる性能を理解している。</li> <li>・ユニバーサルデザインを知り、社会福祉の実態や課題を理解している。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">この単元を自己評価してみよう <b>A B C</b></div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前授業</li> </ul>
8	<b>7章</b> 生涯の健康を見通した食生活をつくらう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成分表の使い方を理解し日常生活に生かせるようにする。</li> </ul>	<p><b>【関】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の食生活や食事の意義について考え、栄養や健康と関連させて考えようとしている。</li> <li>・食生活の多様化や食環境の変化に興味を持ち、調理実習・実験に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・VTR視聴</li> </ul>
9	成分表の使い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養素の働きを理解する。</li> </ul>		調理実習開始
10	栄養と食品	<p><b>調理室と包丁の使い方</b></p> <p><b>第1回調理実習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の栄養を理解し、選択できるようにする。</li> </ul>	<p><b>【思】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養素の種類と機能をふまえて、食品を組み合わせて摂る献立を考えたり、近年の食品の安全性にまとめたり、発表することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期中間考査</li> </ul>
11	安全で環境に配慮した食生活	<p><b>第2回調理実習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の安全性について考えてみる。</li> </ul>	<p><b>【技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調理のための基礎的な技術が習得でき実生活で活用し、調理することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・VTR視聴</li> </ul>
12	健康につながる食事計画	<p><b>第3回調理実習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の計画を立てられるようにする。</li> </ul>	<p><b>【知】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の安全性にかかわる問題点などを通して、食生活と健康との関連を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技試験(2学期期末)</li> </ul>
		<p><b>実技テスト</b></p>	<p>※調理実習は8月～11月にかけて実施します。最後の実習は実技試験です。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">この単元を自己評価してみよう <b>A B C</b></div>
1	<b>第6章</b> 経済生活を設計しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者としての自覚と経済的な自立の必要性について理解する。</li> </ul>	<p><b>【関】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者情報に関心を持ち、社会的影響や環境への負荷等に配慮しながら、主体的で責任ある消費行動を取ろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉テスト</li> <li>・VTR視聴</li> </ul>
2	現代の消費生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費経済の仕組みについて理解する。</li> </ul>	<p><b>【思】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題点や家計管理のポイントを社会と環境との関わりも含め、管理計画を立てることができる。</li> </ul>	
3	消費者問題の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者の権利と責任について理解する。</li> </ul>	<p><b>【技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トラブルに直面した場合、社会的な手段も利用しながら、解決する方法を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年末考査</li> </ul>
	消費者の権利と責任	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の消費生活について理解する。</li> </ul>	<p><b>【知】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者の権利と役割、環境との関わり等について理解し、消費者政策と家計の構造等について基礎的・基本的な知識を身につけている。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">この単元を自己評価してみよう <b>A B C</b></div>
	家庭の経済生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の学習内容から課題をみつけ、解決方法を考える</li> </ul>		